

らいふすてーじ

1

歴史ある定番記事

定番記事とは

らいふすてーじには、大きく分けて2種類の記事があり、**特集記事①**と**定番記事**と呼ばれている。定番記事はテーマに沿って書かれることが多く、ほとんどの定番記事にはロゴが作られている②。

ACADE見IC

現在も続く定番記事の中で、最も古くから存在するのは、創刊の翌年から始まった、研究室訪問**ACADE見IC**だ。この記事は、各分野の最先端の内容を研究されている、京都大学の教員にインタビューする記事で、今までにインタビューした教員は200人近くになる。

全学共通科目を担当されている方に限らず専門科目を教えている先生方にインタビューすることもあり、普段では関わることも少ない研究分野を垣間見ることができる。また先生方の学生時代の話に迫り、含蓄のある話を聞くこともできるため編集部員にとっても貴重な機会となっている。



2019年9月 ACADE見IC
法学研究科 潮見佳男教授

らいふすてーじの動き

1984.6	らいふすてーじ創刊
1985.4	研究室訪問「ACADE見IC」スタート
1990.10	「十人十色」スタート
1991.12	「京大探偵団」スタート
1993.4	「京都うろつきまわりんぐ」スタート
.5	「私と健康」スタート
1995.6	「家でのこづち」スタート
2019.1～	らいふすてーじ創刊35周年特別企画

また、2009年には**京大^{ひと}の道COMPASS**という定番記事も始まった。これは京大の卒業生にインタビューするもので、ACADE見ICと並ぶ人気記事になっている。

十人十色

ACADE見ICと並んで30年以上続いているのが、毎月のお題をテーマに、読者の投稿を使ってショートストーリーを作る**十人十色**だ。本誌の最後のページに必ず掲載されている。

2017年6月「傘の中の人々の気持ち」や2019年5月「ゴールデンウィーク明けの教授の一言目」のように、最近のお題はユーモアとジョークに溢れた内容が多くみられる。一方、昔のテーマは1991年4月「ゴミ問題をどうすべきか」や1991年6月「学内の美化について」など真面目な内容もあったようだ。またかつては、読者投稿に300字以内という字数制限があり、長文で持論を寄稿した読者もいた。

- ① 特集記事はどんな内容でも良いため使う人が多く、最近では定番記事の記事数が減少傾向にある。
- ② 十人十色には決まったロゴが作られておらず、左上のタイトル部分は執筆者が内容に合わせて作っている。

はみだし
すてーじ

ポケット六法って何のポケットなら入れられるんだろう・・・
⇒カンガルーのポケットなら……?!

(法・1 金色のかたつむり)
(京大動物園に新たな動物が……！；編)

京大探偵団

創立100年を超える京都大学には、知られていない不思議も数多くある。そんな不思議な場所・人・出来事に迫るのが**京大探偵団**だ。この定番記事も30年近く続いている長寿記事の1つだ。京大のシンボルともいえる、時計台前のクスノキの歴史について調べたり、京大の下に眠る遺跡を探ったり、ときには話題の人物にインタビューしたりなど、どんな依頼にも対応している。

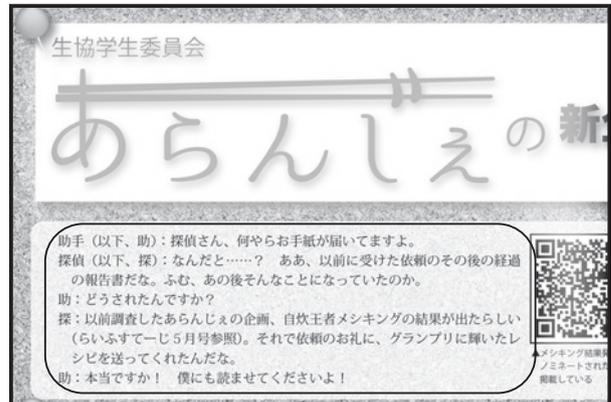
記事の冒頭で、探偵の下に依頼の手紙が届くことで調査に乗り出すスタイルは、昔から受け継がれてきたものだが、最近では秘書、先輩探偵、助手といったキャラクターが増え、さまざまなバリエーションがある。京大探偵団への調査の依頼は、らいふすてーじ読者カードの意見・要望欄で受け付けている。

京都うろつきまわりんぐ

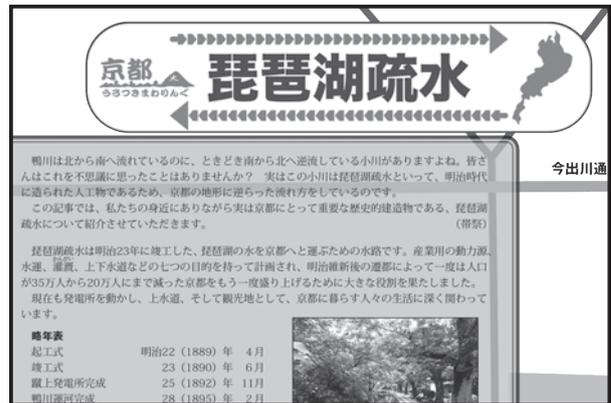
定番記事の中で最も長い名前を誇る(?) **京都うろつきまわりんぐ**は、京都ならではの名所を紹介する記事だ。

27年間で取り上げた京都の名所は延べ150ヵ所近くになり、そのうちの3分の1は下鴨神社や南禅寺などの神社仏閣を訪れている。さすが京の都と言われるだけのことはある。

ときには、「うろつきまわ」ることをメインにして、京都市内をサイコロを振り、運任せの旅を楽しむ編集部員もいた^①。この楽しさは一度やってみないとわからないそうだ。読者もぜひやってみてほしい。



2018年10月 京大探偵団 あらんじえの新企画に迫る！探偵と助手の会話から始まっているのがわかる。

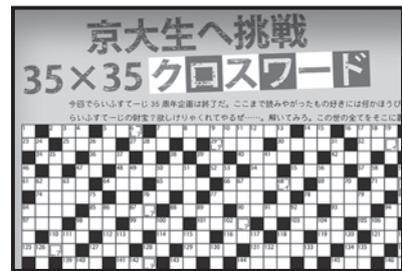


2019年7月 京都うろつきまわりんぐ 琵琶湖疏水 このときも近くの南禅寺を紹介している。

35周年特別企画

昨年2019年には、らいふすてーじ創刊35周年を記念して、特別企画を実施した。

35の数字にちなみ、京大から35km離れた大阪の万博記念公園まで歩いたり、35×35クロスワードを制作したりした。読んだ覚えのある読者も多いのではないだろうか。読者のなかには、「来年(2020年)は36×36クロスワードすね！」というクロスワードパズルの好事家も数人いたが、残念ながらその予定はないようだ。



2019年12月 35×35クロスワード

① 2010年6月「目指せ京都駅！ サイコロの旅」や2013年5月「バス停すぐろくの旅」、2018年12月「京都市バスすぐろく」など、繰り返し企画されている。

はみだし
すてーじ

やっと研究室にキムワイプが届きました！
⇒やっと皆さんの手元にらいふすてーじが届きました！

(工・院 キムワイプ)
(少しずつ日常に戻りつつある……？；編)

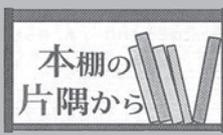
過去の編集部員の努力

定番記事の中には、その時代に合わせて名前を変えながら続いてきたものもある。流行を追いつつも、伝統を重んじてきた過去の編集部員たちの血と汗と涙が垣間見えるだろう。

1990年から始まったSHOP INTRODUCTIONは京大周辺の店舗を紹介する記事だ。リーズナブルな京大生向けのお店から、奮発したいときの高級なお店まで幅広く取り上げている。2008年には名前をSHOP情報局と変更し現在まで続けている。

近年人気を博している目から鱗は、編集部員オススメの本やCD、映像などを紹介する記事だ。本の紹介記事の歴史は古く、1991年の本どすえにまで遡ることができる。本どすえは1994年に休載するが、2000年には本棚の片隅からと別の定番記事として復活した。

京大生にアンケートを取って、その実態に迫る記事は昔からあったが①、定番記事として続くようになったのは、1998年の京大生なんでもランキングからだ。その後2001年にランキングするのをやめて、京大生〇〇人に聞きましたに改題されている。

	1990	2000	2010
店舗	1990年頃～2008年2月 (126回) 		2008年4月～現在 
本	1991年12月～1994年2月 	2000年6月～2002年1月 	2002年4月～現在②  
アンケート		1998年4月～2001年2月 	2002年4月～現在②  

1990年代以降の定番記事の関係略年表

- ① たとえば京大生^{たいらひとし}平均くんの生活 (1991年4月～1992年2月) や、京大生実録 (1992年4月～1993年2月) など。
② 目から鱗は2009年4月から、京大生〇〇人に聞きましたは2013年6月から新しい現在のロゴに変わった。

はみだし
すてーじ

"じしゅく"ってよく見けど漢字では書けない。
⇒5歳の女の子に叱られる番組でも書かされていましたね。

(工・院 武田剛)
(自粛の「自」に、自粛の「粛」ですよ！；編)

がんばれ!!
ばいとくん

がんばれ!! ばいとくん
(1994年5月～2007年2月) 全73回



論壇Times
(1994年6月～1996年11月)

復活した記事

一方で、休載していた定番記事が名前を変えて復活することもある。ひと・ヒト・人は京大に縁のある方々にインタビューする記事だ。こちらは20XX年から京大人の道COMPASSとして現在でも人気の記事になっている。
(→p.0)

同時期に掲載された京大トワイライトゾーンは、京大のあまり知られていない施設を紹介する記事だ。この知られていない不思議に取材する企画は現在京大探偵団に引き継がれている。
(→p.1)

京大に存在する数えきれないほどの部活やサークルを紹介するサークル探訪は1985年から長期間続いていた。1994年以降しばらくの間休載していたが、2019年6月のらいふすてーじ創刊35周年記念の際に、サークル万華鏡として復活した。



京大トワイライトゾーン (1990年9月～1991年11月)



第1回 亀屋佳乃さん

ひと・ヒト・人
(1990年9月～1991年11月)



サークル万華鏡
(2019年6月～現在)

過去にあった記事

新しい定番記事が始まることあれば、今までの定番記事が最終回を迎えることもある①。特に1990年代は1年間限りの連載企画が多く、多彩な記事が生まれた。

1994年から2007年にかけて続いた**がんばれ!! ばいとくん**は、編集部員がいろいろな場所でバイトを経験しその体験談を語る記事だ。飲食店のバイトからスタジアムの単発バイト、神社で巫女になるなど、多種多様なバイトが紹介されている。

1994年6月にスタートした**論壇Times**は京大で問題になっていることについて、読者からの投稿を募集したり、編集部員が意見を述べたりする記事だ。カンニングや授業の出席に関する話題など学業に関する話題が多くを占めていた。十人十色にも意見が募集されるなど、多くの人に読まれていた記事だったことが伺える。

こんなあるでとねえ、ねえ、知ってる?

は吉田購買食堂委員会(現・吉田南キャンパス運営委員会)による記事で当時流行した商品や、役に立つグッズを紹介する記事だ。

サークル探訪①

サークル探訪
(1985年4月～1986年1月)



サークル探訪
(1986年4月～1994年7月)

① がんばれ!! ばいとくんは2007年2月号に最終回の記載があったが、記事中に最終回と書かれずに終了した定番記事も多い。論壇Timesは投稿の募集がなくなったことで最終回を迎えたと判断した。